



平成 22 年 12 月 10 日

各 位

コード番号 3159 東証第一部
会社名 CHIグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 小城 武彦
開示窓口 執行役員総務部長 高橋 健一郎
電話番号 03-5225-8787

連結子会社の会計方針の変更及び当社の連結業績予想の修正に関するお知らせ

本日開催の当社取締役会において、当社連結子会社である丸善株式会社の会計方針の一部変更を決定いたしました。また、当該変更および最近の業績の動向を踏まえ、平成22年6月14日に公表した当社の連結業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成23年1月期通期連結業績予想数値の修正（平成22年2月1日～平成23年1月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	130,000	690	420	640	10円64銭
今回修正予想（B）	117,450	△830	△1,010	△830	△13円80銭
増減額（B－A）	△12,550	△1,520	△1,430	△1,470	—
増減率（％）	△9.7%	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成22年1月期）	—	—	—	—	—

当社は平成22年2月1日に丸善株式会社と株式会社図書館流通センターが経営統合し、両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。当連結会計年度が第1期となるため、前期実績はありません。

2. 修正の理由

文教市場販売事業における年間一括契約雑誌等商品につきましては従来、顧客との契約締結時に年間分を売上計上しておりましたが、2011年度版（2011年1月から2011年12月に発行、サービス提供される）雑誌等商品契約受注分より発行月、サービス提供時期等、より一層合理的と考えられる基準に基づき期間按分により売上を計上する方法に変更することといたしました。これまで年間一括契約雑誌等商品取引における当社の役割は、顧客と雑誌およびサービス提供元との間の仲介的業務を主としていたものの代金の回収リスクを一部負担していたことから、顧客との契約時に売上処理しておりました。しかし近年は、商環境の変化により当社の役割機能が拡大傾向にあり、顧客と発行元との間において契約期間を通して当社が関わる頻度が増し、契約締結後のアフターケア業務も増加傾向にあることに加えて、今般、合理的基準に基づく期間按分による計上システムを構築したことを含め管理体制を整備したため、これを機に2011年度版雑誌等商品契約受注分から売上計上方法を変更することを決定いたしました。

この変更により連結業績は、従来の方法に比べ売上高8,020百万円、営業利益、経常利益、当期純利益はそれぞれ1,210百万円減少する見込みであります。

なお、当変更による業績影響は適用初年度である当期のみで、来期以降、通期業績に対して影響するものではありません。

また、この変更に加えて書籍市場の低迷から、店舗・ネット販売事業及び出版事業におきましても当初

見込みを確保することが困難な見通しとなりました。その結果、前回予想に比べ売上高 12,550 百万円、営業利益 1,520 百万円、経常利益 1,430 百万円下回る見込みとなりました。本日「子会社の固定資産の譲渡ならびに特別利益の計上に関するお知らせ」で開示しました固定資産売却益 1,351 百万円の特別利益計上は前回見込みに織込んでおりましたので当期純利益につきましても上記理由から 1,470 百万円前回予想を下回る見込みとなりました。

上記についてのお問合せは、下記までお願いいたします。

【問い合わせ先】

CHI グループ株式会社 経理・財務部 森、吉留
Tel 03-5225-8787